

ふーぬ風

発行 〒901-1115
沖縄県南部農業改良普及センター
TEL : (098) 889-3515
FAX : (098) 835-6010

南部地区のさらなる農業振興をめざして

～新体制で平成24年度の普及活動をスタート～

南部農業改良普及センター管内は、14市町村からなり、さとうきび、野菜、豚、花き、乳用牛などの生産が盛んな地域です。近年、地下ダムの整備をはじめ、農地及び施設の整備、農業機械の導入などが図られ、生産基盤は充実しつつあります。

しかしながら、農業者の高齢化や担い手不足、産地間競争の激化、生産資材費の高騰、農産物価格の低迷など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような中で、担い手の育成確保や栽培技術の高位平準化、生産費の削減、生産・出荷体制の強化、作業の省力化、農地流動化による経営規模の拡大、防災農業の確立など、課題は山積しています。このような状況を踏まえ、平成24年度は以下の課題に重点的に取り組みます。

1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などを支援します。

2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、甘しょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの増産、畜産の生産供給体制の強化などを支援します。

3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取り組みを強化します。

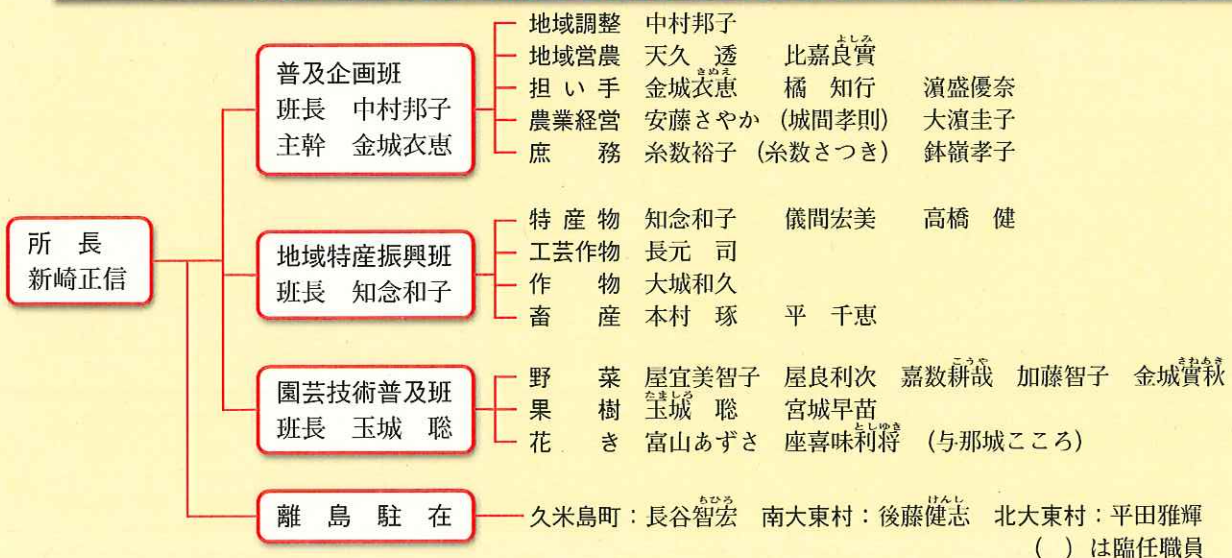
4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、都市・農村の交流による地域活性化、地域特産物の活用、島野菜の産地化を支援します。

これらの課題解決にあたっては、生産農家を始め、市町村、JAの関係機関・団体と密接に連携し、職員一丸となって取り組んでまいります。関係者の皆様には、今後とも農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い致します。

南部農業改良普及センター所長 新崎正信

平成24年度 南部農業改良普及センター活動体制



受けてみませんか、土壌の健康診断を！

～5月下旬より平成24年度土壌検診スタート～

1 土づくりの意義について

近年、エコファーマー・特別栽培・GAP(農業生産工程管理)など消費者の安全・安心に対する関心の高まりとともに、環境に配慮した農業がますます求められております。

そのためには、作物本来の『基礎体力(樹勢)の維持による健全な生育』は勿論、畑の健康状態を知ることが、「品質及び反収の向上」のみでなく「減農薬」等の対策においても非常に重要です。ちなみに平成23年度には南部管内において、1,200点の土壌分析を実施しました。

※平成24年度の土壌分析日程

- ①日時：5月28日～6月1日
場所：南部農業改良普及センター
品目：南部管内の花き全般
- ②日時：6月11日～15日
場所：JAおきなわ糸満支店
品目：JA糸満・小禄支店管内の野菜、果樹・サトウキビ等(花きを除く)
- ③日時：6月18日～22日
場所：JAおきなわ大里支店
品目：JA糸満・小禄支店管内以外の野菜果樹・サトウキビ等(花きを除く)
- ④日時：7月9日～13日
場所：南部農業改良普及センター
品目：周辺離島(粟国村・座間味村等)野菜果樹・サトウキビ等

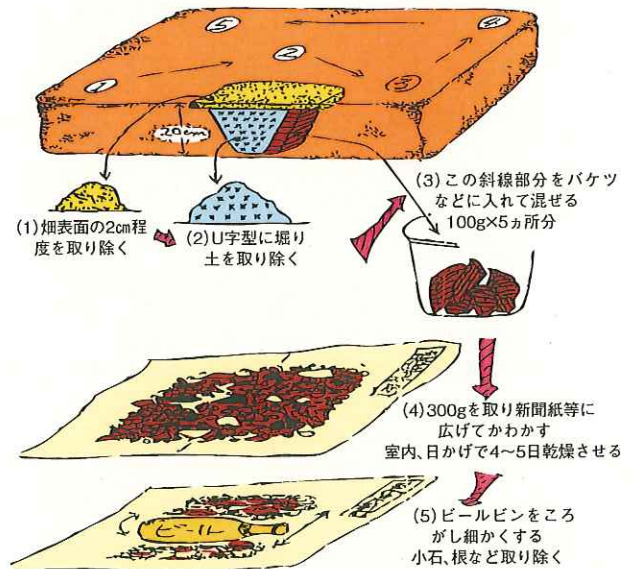
2 分析項目について

以下の8項目について分析します。

【分析項目】	【単位】	【項目の意味】
		【数値から判ること】
土壌酸度(pH)		肥料の溶け具合を左右(作物毎の適正值) 土壌中の酸度、養分の吸収に影響する
電気伝導率(EC)	ms/cm	水に溶けた肥料濃度 多施肥や塩類集積等の目安
陽イオン交換容量(CEC)	me/100g	土壌の胃袋の大きさ 保肥力の大小
腐植	mg/100g	土の生産のもと 土質の改善や微量元素の補給
交換性石灰(CaO)	mg/100g	交換性陽イオンのカルシウム量 タンパク質合成や細胞壁合成に関与
交換性苦土(MgO)	mg/100g	交換性陽イオンのマグネシウム量 光合成に関与
交換性加里(K ₂ O)	mg/100g	交換性陽イオンのカリウム量 作物体内の機能調節に関与
トルオーグリン酸(P ₂ O ₅)	mg/100g	根酸で溶けるリン酸量 成長・エネルギー代謝に関与

3 分析土壌の採り方

- ①土壌を採るタイミング
作物収穫後におこなうことが基本です。
※次期作物の基肥施用前(前作収穫後のすき込み耕耘後すぐが最適)に土をとるとよい。
- ②土壌を採る深さ:根の多い**地下15～20cm付近より採る。**
- ③土壌を採る位置:ほ場内の**数ヶ所から偏りなく採って混ぜる。** ※これをほ場ごとに行う
- ④土壌の量:乾燥させ、篩(ふるい)にかけた土を約100～300g(コップ一杯程度)採る。
- ⑤同一ほ場内における生育差を確認する場合土壌養分等にムラがあると思われるので、偏りを確認したい場合は、**正常な位置、異常な位置**を分けて採り、**提出も別々**にする。



4 土の提出期限及び方法

- ①土は分析日の1週間前までに提出(地域によって分析日が異なるので事前に確認)して下さい。
- ②所定の「**土壌サンプル票**」に記入のうえ、土と一緒に提出します。
- ③分析件数は1人4点までとします。
- ④提出はJA各支店に行い、土壌診断結果の配布も**JA各支店(生産部会等)**を通して行います。(JA生産部会員・組員以外については南部農業改良普及センターにおいても受け付けております)

(園芸技術普及班：座喜味利将)



台風シーズンが近づいています! 対策は万全に!!

まもなく梅雨が明け、台風のシーズンが到来します。平成23年は数回の台風襲来したため、落果や枝の損傷、施設被害がみられ、台風通過後には塩害、強風による落葉や樹勢の低下、樹によっては春先にかいよう病が発生した園地もみられました。樹が弱ると、今後の収量に影響します。かいよう病の予防策として台風襲来前にICボルドーを散布しましょう。

の落果防止に効果がみられます。二重ネット被覆はハウス側面とつり棚の上が効果的です(設置例参照)。マンゴーハウス全体が2枚のネットで囲まれることで(便宜上、ハウス被覆ネットを外張り、側面ネットを内張り、つり棚上ネットを中張りと呼びます)果実、樹体を台風から守ることができます。この方法で平成23年の台風2号、9号でほとんど落果しなかった事例があります。

◆◆◆◆◆かいよう病◆◆◆◆◆



葉や果実、枝幹を侵す病気。

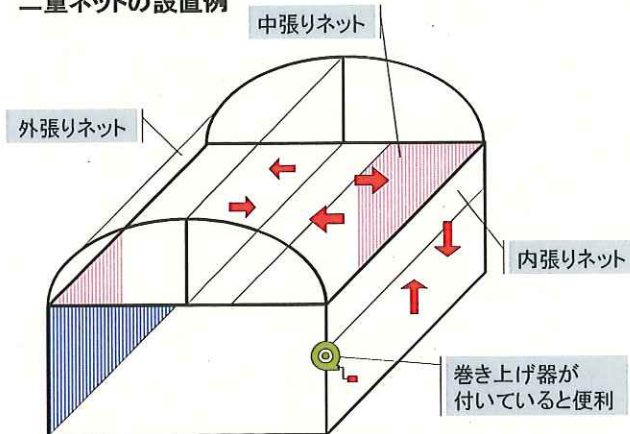
【特徴】

葉：コールタールのように盛り上がり角張った黒斑が出る

枝、幹：亀裂からヤニが出る

果実：黒斑に裂け目が出る
※現在の対策としては、予防散布しかありません!!

二重ネットの設置例



台風から、収穫物だけでなく、マンゴーの樹を守るためにも、万全な対策を行いましょ。

台風対策のメインは何といっても防風対策です。施設の周辺には防風林、防風垣、防風ネットの設置が有効です。園地の敷地面積やコスト、設置(対策準備)完了までの時間、耐用年数や維持管理等の労働時間など、自分に合った防風対策を検討し実施してください。

ただし、紹介した二重ネットによる台風対策はある程度風に耐えられるハウス強度が前提で、小型のパイプハウス等では補強が必要です。補強例として、足場パイプを用いて3mおきのアーチに追加する、3m間隔で中央に支柱を立てる、前後の妻面と支柱をクランプで接続する等の方法があります。

以上、台風事前対策を紹介しましたが、台風後の対策も重要な作業です。強風で運ばれてきた塩分を十分に洗い流し、ハウス内換気を行い、高温対策を行いましょ。

防風設備の種類

	コスト	完成時間	耐用年数	管理
防風林	安	非常に遅い	長い	せん定
防風垣	安	遅い	長い	せん定
防風ネット	高	早い	3-4年	張替え

次に、ハウスの被覆資材です。ビニールを張っていると風は入りませんが、強い台風ではハウス自体がもちません。かといってビニールをとると落果、キズ果、折損など大きな被害を受けます。ハウスもマンゴーも守るには、風を遮断するのではなく、破風(風の強さを弱めること)することがポイントです。1枚ネットでのハウス被覆では風を十分に弱めることはできませんが、二重に設置することで果実

☆☆☆ まとめ ☆☆☆

- 事前対策
→ハウス補強(必要があれば)、防風ネット設置、台風襲来前のICボルドー散布
- 事後対策
→塩害対策・ハウス換気「台風通過後、早急に!」

台風に負けずに、ちゅらマンゴーづくりを目指してがんばっていきましょう!!

サトウキビに被害拡大！



みんなでイネヨトウの防除を！

危険!

近年、与那国・伊是名島等で猛威を振るっているイネヨトウ。南部地区でも深刻な被害がみられ、その拡大が懸念されます。早急な防除対策について、お知らせします。

芯枯れの株のはかま(下葉)をはぐと



芯枯れ



食害痕



坪枯れ



畑全体が被害

- 漢字で「夜盗虫 (ヨトウムシ)」と書くように夜間に茎を移動して食害する
- これまでの芯枯れ害虫のシンクイハマキとは比べものにならない深刻な被害が出る
- 防除が遅れると、原料茎がみるみる立ち枯れ、収量が激減 (右上図) する

生育初期の防除対策が大切です！！



効果的な粒剤処理



- サトウキビが薬剤を吸収、効果が続く(30日程度)
- 散布しやすく、飛散の恐れ少ない



株元散布



土壌混和

効果的



農薬名	使用量及び希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
オンコルOK粒剤	4~6kg/10a	植付時	1回	植溝処理土壌混和
		生育期(分けつ期まで)		株元散布又は株元土壌混和
アドバンテージS粒剤	6~9kg/10a	植付時	1回	植溝処理土壌混和
		培土時		株元処理土壌混和



オンコルOK粒剤



アドバンテージS粒剤

イネヨトウの生態 (一代70日程度)



幼虫 2~3cm



成虫 1~1.5cm

1匹 400~700個産卵

* 蛹は省略

(地域特産振興班：長元 司)

かんしょの栽培技術情報

かんしょの育苗を行いましょう!

もしかして
春に収穫する「いもづる」を苗にいませんか?

- 「いもづる」を苗にすると…
- 植え付け直後に花が咲きやすい
 - 生育が不揃いとなり生育も遅い
 - 病気を持った苗が入りやすい
 - 計画的な作付けができない



いもづるを苗として用いたほ場

種いもを用いた育苗を行いましょう。



種いもから育苗した苗を用いたほ場

「種いも」から育苗するとこんなメリットがあります!

- 生育が早く揃いもよい。
 - 病気の発生が抑えられる(黒斑病)。
 - 苗の計画的な供給が可能となる。
 - 色のりの良いものが生産できる。
- ・年に一度冬場に収穫したいもを一ヶ月保存した後
病気がない「種いも」を用いて育苗を行いましょう。



種いもを用いた平畝での育苗

「種いも」を使った育苗方法

- ① 平畝及び高畝とする。施肥はいも専用肥料で600g/10㎡(約3坪)とする。
- ② 種いもはベンレート水和剤で粉衣消毒※する(種芋の重さの0.4%)
(: 種いも5kgに対し粉末のベンレート水和剤20gをまぶす。)
- ③ 種いもを伏せこむ(覆土はいもが見えない程度でよい)。
- ④ 設置した苗床面積の10倍の植付けが可能である。

(地域特産振興班:大城和久)

エコファーマーマークの使い方が変わりました。

- エコファーマーマークは、エコファーマーの導入計画に基づき生産された農産物に使用が可能で、県への使用許可申請が必要となります。シール、包装容器・包装箱、ポスター、チラシ、ワッペン、名刺等にその表示をすることができます。
- マークを使用する際は、マーク近傍に以下の表記(フォントはゴシック体)が必要となります(右に使用例)。

【使用例】



⑥の表記例

エコファーマー
沖縄県
認定番号第〇〇号
氏名(任意)
<http://www.pref.okinawa.jp/>
検索:エコファーマー

- ① エコファーマー
- ② 沖縄県
- ③ 認定番号第〇〇号
- ④ 氏名(※任意)
- ⑤ 「環境にやさしい農業をはじめました」「環境にやさしい農業を行なっています。」「エコファーマー eco farmer」のいずれかの文字
- ⑥ エコファーマーと、エコファーマーマークに関する説明文(ただし、スペースの関係で記載が難しい場合には、説明文を掲載したホームページのURLや問合せ先の電話番号を記載でも可。)

カラー再現

	プロセスカラー(4C)	特色
BLUE	C100 M30	DIC 181
GREEN	C90 Y100	DIC 2558
BLACK	K100	DIC 2368

※モノクロ再現の場合は「BLACK(K100/DIC2368)」を使用。

※マークの使用期間は、エコファーマーの導入計画の認定を受けている期間の範囲内です。
詳しくは、沖縄県エコファーマーマーク使用規程・使用細則(県営農支援課HPに掲載)でご確認下さい。

(地域特産振興班:高橋 健)

～南部地区農業青年クラブ連絡協議会 定期総会の開催～

平成 23 年度南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が5月11日(金)に開催され、クラブ会員 20 人と関係機関が集まる中、全ての議案が承認されました。

新会長となった杉本雄靖氏(糸満市農業青年クラブ(予定))からは、「みなさんが参加していただけるよう、魅力ある活動を引き続き実施していきたい。不慣れではあるがよろしくお願ひします」とあいさつがあり、参加者へ今後の参加を呼びかけました。

また、県連会長の仲宗根正人氏から「南部地区のすばらしい活動に感心している。今年度も一緒に沖縄県の農業を盛り上げていきましょう」と激励のあいさつがありました。



新役員紹介



会長：杉本雄靖氏
(糸満市農業青年クラブ(予定))



副会長：眞部優子氏
(八重瀬町ファーマーズクラブ)



事務局長：中村京陸氏
(南風原町農業青年クラブ)



理事：高橋正弥氏
(南風原町農業青年クラブ)

(普及企画班：橋 知行)

農山漁村男女共同参画優良活動表彰で

瀬長澄子氏が農林水産大臣政務官賞を受賞

農山漁村男女共同参画推進協議会が主催する農山漁村男女共同参画優良活動表彰の組織における女性登用部門において、豊見城市の瀬長澄子氏が農林水産大臣政務官賞を受賞しました。

去る3月8日に東京都で開催された「農山漁村女性の日記念の集い」のなかで表彰式があり、農林水産大臣政務官から表彰状が授与されました。また、3月19日に豊見城市長を表敬訪問し受賞を報告、4月26日にはJA女性部の主催により祝賀会が盛大に開催されました。

瀬長氏は JA おきなわの経営管理委員を務め女性の正組合員や総代の増加に尽力し、JA 女性部の代表として女性組織連絡協議会で役職を歴任、女性の役職登用推進活動を行い女性農業委員の増加につながった点等が評価されました。現在も沖縄県女性農業委員協議会の会長を務め、女性農業委員の増加に向けて積極的に活動しています。今後も更なる活躍が期待されています。



授賞式の様子



授賞祝賀会でのあいさつの様子



豊見城市長への受賞報告

(普及企画班：濱盛優奈)



北大東の防風技術

～シンプルな技術で大きな成果～



北大東村では、基幹作物であるサトウキビを柱に、一部、バレイショ、カボチャとの輪作が行われている。バレイショ、カボチャ栽培時における防風技術について、北大東村での事例を紹介する。

バレイショ栽培時の風対策では、「サトウキビ防風垣」を設置する農家が多い(写真1)。この防風垣となったサトウキビは、後作春植えの種苗として用いられるなど、効率的な輪作が行われている。サトウキビ防風垣の場合、遅くとも5月中には植え付けを終え、バレイショ栽培開始までに防風垣としての機能を発揮できるように生育させておく必要がある。その点、防風ネットは融通が利くため、写真2のように作物植え付け後には場への風の当たり方を見ながら設置する農家も多い。

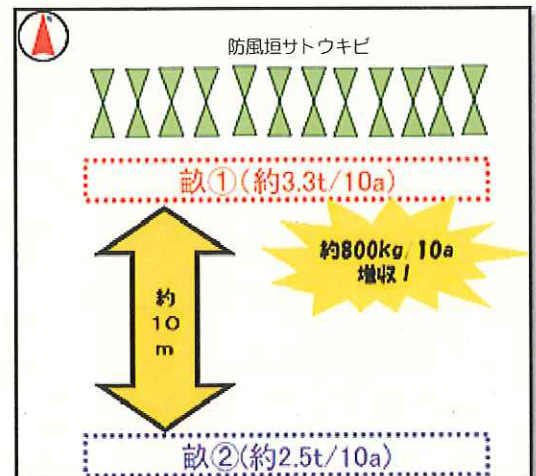


写真1: サトウキビ防風垣(写真両端)



写真2: 南北にサトウキビ、東西にネットを設置

風対策の効果は非常に大きく、簡単に現地調査してみると右図のようなデータが得られた。これは、「**防風効果により反収で約800kgバレイショが増収した**」ことを示しており、防風垣隣の畝①が、防風垣から10m離れた畝②より反収で約800kg多かったことを図式化した。まさに、**シンプルな技術で大きな成果**が得られている。



カボチャ栽培における風対策でもバレイショ同様、サトウキビ防風垣や防風ネットを有効に活用している。カボチャにおける防風ネットでは、写真3のように株元にネットを設置することで風の抜け道を作り、カボチャへの風をうまく回避するような方法も普及している。もともとこの通路は、栽培管理用として約1.5m幅に作られるもので、写真4のように液肥や農薬散布時などに15psトラクターが通行できるようにしている。

反収向上に向けた技術は様々なものがあるが、北大東村において、シンプルな技術＝防風垣は、非常に大きな成果を上げている。



写真3: 株元にネット配置



写真4: 液肥や農薬散布の様子



写真5: 現地検討会

(北大東村駐在: 平田雅輝)



がんばれ! NEWファーマー —耕作放棄地の解消による新規就農—

—南風原町—

今回のNEWファーマーは、南風原町から耕作放棄地の斡旋により新規就農を実現した与那嶺耕太(よなみねこうた)さん(30歳)です。

カボチャ、ストレリチアの拠点産地である南風原町で、ミニトマトとタマネギを栽培(45a)しています。

20歳の時に県立農業大学校を卒業した与那嶺さんは、「農大にいた時は、将来農業が出来ると思ってなかった」と本音を話す。一度は、県外で他産業に従事したが、帰郷し、マンゴー農家の手伝い等をしていながら、就農へのチャンスを狙っていたそうです。

「幸い、南風原町農業青年クラブの活動に参加していたこともあり、有難く平成22年の10月に耕作放棄地の斡旋の話をいただきました。それが、就農

を決意した瞬間でもありました」と話す。

また、「実際に就農出来たは良いが、技術不足から来る不安や収量が思ったより低い等、悩み事が尽きないですね。毎日、手探り状態です」とも話す。

現在、認定農業者を申請している与那嶺さんに、今年度の目標はと聞くと、「就農支援講座を受講することで、栽培技術向上へのヒントをつかみたい」と最後に話されました。



(普及企画班：橘 知行)

新採用職員紹介



はじめまして、4月から南部普及センターで地域営農を担当することになりました天久透です。大学を卒業してからいろいろ回り道をしてしまい、少し遅めの社会人デビューですが、南部の農業振興に役立つようにベストを尽くします。よろしくお祈いします。



はじめまして、平千恵です。この4月から南部普及センターで畜産を担当することになりました。新採用職員で普及業務も初めてですが、南部地域の農業・畜産振興に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。これから宜しくお願いします。

定期人事異動

大変な世話になりました(異動先勤務地)

- 金城 實秋(退職)
- 平良 正彦(糖業農産課へ)
- 長山 麻江(北部農林水産振興センターへ)
- 座喜味清美(農政経済課へ)
- 根路銘利加(営農支援課へ)
- 崎間 賀子(中部農業改良普及センターへ)
- 安仁屋政竜(北部農林水産振興センターへ)
- 目取真絵里奈(退職)
- 伊福 正春(退職)
- 長堂 嘉孝(営農支援課へ)
- 諸見里知絵(農業研究センター名護支所へ)
- 新里 寿順(中央卸売市場へ)
- 伊吉 栄作(宮古農林水産振興センター多良間村駐在へ)
- 志良堂 史(中央食肉衛生検査所へ)

これからよろしくお願いします(前勤務地)

- 玉城 聡(流通政策課から)
- 金城 衣恵(病害虫防除技術センターから)
- 大濱 圭子(八重山農林水産振興センターから)
- 天久 透(新採用)
- 大城 和久(北部農林水産振興センター伊平屋村駐在から)
- 長元 司(糖業農産課から)
- 儀間 宏美(北部農林水産振興センターから)
- 高橋 健(農業研究センター名護支所から)
- 平 千恵(新採用)
- 宮城 早苗(中部農業改良普及センターから)
- 座喜味利将(農業大学校から)
- 鉢嶺 孝子(北部病院から)
- 金城 實秋(再雇用)